

 評価のポイント**CL- I . 看護実践能力：ニーズをとらえる力****〔10-1〕さまざまな症状を呈する小児への看護 呼吸器症状（実践編）****1. 小児の評価を行う時に、まず何を確認するとよいでしょうか？また、注意点はどんなことでしょうか。**

小児患者の観察を行う時は、まず呼吸・循環・意識に問題がないかを「パット」数秒で判断します。
おおよそどこに問題がありそうか、異常がありそうかを判断します。時間をかけずに評価を行いましょう。
また、心停止・意識障害・呼吸停止のようなときは応援要請を行うことを考えましょう。

2. ABCDE アプローチは、どのような順番で観察していくかを考えてみましょう。

系統的に観察することで観察が抜けたり、不足したりすることを予防できます。
呼吸器疾患とわかっていても系統的に広く観察することで患者の状態把握につながります。
呼吸のみではなく、呼吸症状とその他の症状が関連しているかをアセスメントできる視点があるとよいでしょう。

3. スライドの事例のように、実際にどのような症状の患者さんを担当することがあるか考えてみましょう。また、その担当患者にどのようなケアができるかも合わせて考えてみましょう。

上気道狭窄や喘息の事例などではどのような症状がでるか、その症状に対してどのようなケアができるかを考えられると良いでしょう。